



クアラルンプール日本人学校だより
JSKL 通信
たくましいからだ、ゆたかな心、優れた知性と国際性

クアラルンプール日本人学校
令和6年度 5月号 5月2日発行
学校長 瀬戸 保彦

お子さんの健康に不安なことはありませんか

本校では、毎年、4月から5月にかけて健康診断を行っています。

成長期の子どもたちが、すくすくと健康に育つことを願い、その状況や実態を把握し、何か気になることや問題が見つければすぐ対応し、健康の維持増進を図ることを目的にしています。何よりも本校の学校教育目標である「たくましいからだ、ゆたかな心、優れた知性と国際性を備えた子どもの育成」の土台を支える大事な学校行事です。



この健康診断は、学校保健安全法施行規則で、毎年、6月30日までにを行うこと、検査の項目や方法、結果についての取り組みなどが決められています。

言うまでもなく、健康は私たちが生きていくうえで欠かせないもののひとつです。子どもたちが楽しく学校生活が過ごせるのも体や心が元気であればこそです。特に、海外に暮らす子どもたちは、歩いたり走ったりする活動時間は非常に少なくなりますし、外で自由に遊んだり活動したりする場所も限られており、体力の低下が懸念されるところです。

学校では、子どもたちの健康の保持・増進のための重要な教育活動として健康診断を位置づけ、
●身長及び体重 ●栄養状態 ●視力及び聴力 ●歯及び口腔の疾病及び異常の有無 ●尿 ●その他の疾病及び有無、など11項目について、学校をあげて取り組んでいます。

検診の結果は、後日お知らせしますが、特に、何か課題が見つければ、必要な治療等について速やかに対応をお願いします。また、養護教諭も必要に応じて相談にのりますし、健康面で学校生活に配慮が必要なことがあれば対応しますので、気になることがありましたら、遠慮なくご連絡ください。

健康診断は、子どもが自身の健康について学ぶ貴重な機会です。保護者の皆様にも、子どもの成長についてご家庭で話し合う機会を設けていただき、健康的な生活について見直す機会としてご活用ください。

主体的・対話的で深い学びが生まれる授業の実践

4月の参観週間には、多くの保護者の方々に来校していただき、子どもたちが学ぶ姿を参観していただきました。ありがとうございました。



本校では、学力の向上を目指し、どの子も分かる授業、そして、深い学びが生まれる授業づくりに取り組んでいます。そのひとつの方法として、自分の考えをしっかりとらせ、仲間と話し合い（対話）ながら考えを深めていけるような授業の工夫を行っています。対話的な学びとは、自分の考えをもち、その考えを仲間と伝え合い、磨き合い、よりよい考えに再構成していくことです。多様な人々が暮らし、生活しているマレーシアで暮らす子どもにとって必要な資質・能力のひとつだと考えています。

今後も対話を生かし、深い学びのある授業づくりに努め、教育目標の実現につなげていきます。